



# 9月定例市議会 市長所信

9月議会が9月7日から25日までの19日間の日程で開催されました。開会日には、議案審議に先立ち、当面する市政の重要課題につきまして、市長より所信が表明されました。今議会で表明された主な内容につきましては、次のとおりです。

紙面の都合上、抜粋して要旨部分のみ掲載しています。全文をご覧になりたい方は、市ホームページをご覧ください。  
また、後日作成されます市議会会議録は市立図書館等で閲覧することができます。

## 水道料金徴収業務等の民間委託

行財政改革の一環として、平成24年度から平成26年度までを実施期間とする水道料金徴収業務等の民間委託に着手します。

実施内容は、徴収業務、滞納整理業務、収納・窓口業務、電話受付業務、システム管理業務等を委託するもので、10月からの実施に向け準備作業を進めているところです。

民間の滞納整理に関する専門知識やノウハウを活用しながら、新たな未納者が生じないよう業務を改善するとともに、早期の債権回収が可能となるよう体制の整備を図るなど、収納率向上に努めてまいりたいと考えており、電話・窓口対応に關しまして、より質の高いサービスが提供できるよう取り組んでまいりたいと考えています。

## いじめ問題

滋賀県大津市で明るみになった事件を皮切りに、全国からさまざまな事案が報告されており、本市におきまして

も、市民の方々から「阿南市では心配ないのか」、また、「自分も学生時代にいじめられてつらかった」などの声が寄せられています。

こうしたなか、「いじめ」は、人権を侵害する深刻で重大な問題であるとの認識のもと、教育委員会では文部科学省や県などからの通達前に、本市独自の取組を開始し、現在、状況の集約・分析作業を進めているところです。

「いじめは、どこの学校でも起こり得る」ということを基本姿勢とし、それぞれが連携を密にしながら、「いじめ」の解明・根絶に全力を挙げてまいりたいと考えています。

## 認定こども園「橋こどもセンター」

橋保育所と橋幼稚園の統合施設として、橋町久保に建設を進めています。認定こども園「橋こどもセンター」は、平成25年4月の開設に向け、各工事区分において予定どおり進捗しています。

また、保護者および地元の皆様方のご意見・ご提言等を踏まえながら、施設の円滑な運営・管理が図られるよう

努めてまいりたいと考えています。

## 保育所の統廃合・民営化

施設の老朽化や児童の入所状況、また、地域性等を鑑みながら総合的な検証を行い、将来像を明確にしたうえで統廃合、あるいは移築・建替えなど計画的に推進する必要があると認識しています。

今後、保護者および地元の皆様方のご理解をいただくなかで、まずは、施設の老朽化が著しく、耐震改修が必要とされる羽ノ浦町内の保育所統廃合に着手できるよう検討してまいります。

手法については、公設・公営による施設の統合に主眼をおき、駐車場の確保など送迎時の安全性や利便性、また、入所児童への安全面にも十分配慮するとともに、行財政改革の観点から管理費・運営費の削減にもつなげてまいりたいと考えています。

## 公共下水道事業

平成23年4月に富岡浄化センターの供用を開始し、第1期計画における残

事業の早期完了に向け、鋭意取り組んでいるところです。

汚水面整備工事の進捗状況は、計画区域面積80・8ヘクタールのうち、供用面積は43ヘクタールで、整備率は約53パーセントです。

また、未整備区域については、「第1住町東仲町」、「東池田」、「東池田口」等の管渠築造工事をはじめ、今議会でご審議をお願いします。「西石塚寺通汚水管渠築造工事」によりまして、下水道整備を効率的・効果的に進めてまいりたいと考えています。

なお、各家庭等からの接続率は、8月末現在、「公共汚水ます」635基に対し、273件が接続されており、約43パーセントとなっています。

下水道は、計画区域における生活環境の改善、公共用水域の水質保全、浸水の防除を果たすために欠かすことのできない重要な施設ですので、未接続の受益者に対しては、下水道普及促進助成金制度の有効活用を促すとともに、個別相談を実施するなど、接続率向上に向けた啓発の推進に努めてまいりたいと考えています。

## 東京事務所

開設から約4カ月が経過し、徐々にではありますが、活動の輪が広がっているところですが、

まず、国への要望や情報収集に関しては、上京する関係団体の活動をサポートするとともに、国の中枢に隣接するメリットをいかし、さまざまな機会を通じて国会議員や各省庁の担当者との面談し、本市の現状や課題、必要な施策等について意見交換に努めています。

観光物産などのプロモーション活動については、徳島県東京本部との連携により、8月、麻布十番のイベントでPR活動を実施したほか、9月6日と7日の2日間、新橋駅において観光キャンペーンを行っています。

さらに10月には、倉敷市、呉市、下関市など中四国7市の東京事務所と連携し、東京タワーで「瀬戸内フェア」を開催するとともに、12月には松山市との合同による「みかん」と「LED」をコラボレーションした観光イベントも計画しています。

また、東京近郊に在住する阿南市ゆかりの方々との交流促進については、今後の活動において非常に重要な位置づけとなることから、現在、「ふるさと会」の設立に向け、有志の方々と作業を進めており、準備が整い次第、設立総会を開催する予定です。そして、年内には設立記念として、

本市の「食」や「物産」のPRを兼ねたイベントを都内で開催し、本市の魅力を広く発信するとともに、会員相互の交流を深めるなかで、「ふるさと阿南市」を応援していただく機運を醸成してまいりたいと考えています。

今後におきましても、各方面のご理解とご協力をいただきながら、首都圏と阿南市を結ぶパイプ役として、また、「人・モノ・情報」をキャッチするアンテナとしての機能を高めながら、拠点としての活動を展開してまいります。

## 庁舎建設

実施設計が完了し、ホームページでパース等を公開していますが、市民の皆様様に建設計画の具体的な全体像をご覧いただくため、9月から本庁舎1階ロビーにおいて完成予想模型を展示しています。

事業の進捗状況は、7月に着手した分庁舎上屋の解体工事が9月中旬に完了し、その後、現庁舎の排水管を公共下水道に接続する工事を予定しています。

本庁舎は、一般競争入札による建築・管・電気、各工事の分離発注とし、第3四半期(10月～12月)での発注を目前に、鋭意取り組んでいるところです。

なお、構内駐車場の利用制限等でご不便をおかけしますが、引き続きご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

## 農業行政

農業を取巻く環境は、所得の減少や就労年齢の高齢化に伴う担い手不足による耕作放棄地の増加などの恒常的な課題に加え、原油価格の高騰および安価な輸入品の増加に伴う自国商品価格の下落など、国内外のさまざまな要因により大変厳しい状況となっております。農業の競争力や体質強化などを図ることが喫緊の課題となっております。

このような情勢のなか、国は「持続可能な力強い農業の実現」のための具体的な施策として、「地域農業マスタープラン」いわゆる「人・農地プラン」の策定を要件として、青年就農者の定着を支援する「青年就農給付金事業」や、地域の中心となる経営体への農地集積・分散化した農地の連坦化(面的集積)が円滑に推進できるための「農地集積協力金」の交付、あるいは貸付当初5年間の金利を助成することで実質、無利子化とする「スーパール資金の金利負担軽減措置」など、新しい施策を推進するものとしています。

こうしたことから本市では、本年度、すべての農家を対象に、各地域や集落の5年後・10年後における農業の将来像や、あり方についてのアンケート調査を実施し、農業に対しどのような未来像を描いているかを把握したいと考えています。

その結果を踏まえ、平成24年度から2年間を目標に、徹底した話し合いを

行い、それぞれの実態に即した「人・農地プラン」を策定し、持続可能な力強い農業の推進に取り組んでまいりたいと考えています。

## 観光・物産PRキャンペーン

本年11月末から12月末までの1カ月間、「なんばグランド花月」前の広場にLEDのオブジェ3基と観光PR看板・のぼりなどを設置し、大々的なキャンペーンを実施いたします。これは、本市の魅力を広く発信するための取組の一環として、「光のまち阿南10周年」と「吉本興業100周年」を記念し、共同でイベントを開催するものです。

初日は、吉本興業所属の有名芸人出席のもと点灯式を行い、マスコミを対象とした共同記者会見終了後には、「グランド花月」周辺においてエレクトリックパレードを実施し、道行く人々にチラシ等をお配りしながら、元気な阿南市をアピールしたいと考えています。

また、キャンペーン期間のうち2日間は、劇場付近で本市の特産品販売も行うことになっています。

吉本興業の抜群の知名度や、クリスマス商戦で賑わう大阪ミナミでの開催ということ、相応な客数が見込まれ、メディアにも取り上げられることから、大きな宣伝効果が生じるものと期待しています。